

【はじめに】

私の研究テーマは奈良県の多文化共生についてである。世界の国と日本の繋がりを探究したいと思い2年次に「グローバルが生み出す力」ゼミを選択した。特に奈良県を訪れるイスラム教徒の方に焦点を当てて研究をした。きっかけは多文化共生についての授業を受けていたときイスラム教徒の方が主に上げられており、今まで全くイスラム教について知らないでいたことを知ったからである。学ぶ前まではイスラム教と聞くと紛争のことであったりマイナスなイメージが強かった。しかし、喜捨と呼ばれる貧しい人を助けることを戒律で決められていたり他にも知らなかった新たな視点を学び多角的な面から物事を考えるきっかけとなった。さらに現在キリスト教に次いで第二位の宗教人口であるイスラム教はこれからより増えると考えられる。そのため日本でも理解を深めていくべきだと思った。

【序論】

UNWTO (国連世界観光機関)によると、日本は新型コロナウイルス拡大前の2019年(令和元年)の外国人旅行者受け入れ数は、3,188万人で世界で12位、アジアでは3位であった。しかし、観光客は多くても宗教的な配慮や理解はまだあまり普及していないと思い、まず自分達が住む奈良の活性化を促進させようと思った。ここで問題は奈良を訪れたイスラム教徒の方が生活しやすいようにするにはどのようにすればよいかである。

そこで私たちはハラルマップというものを制作することにした。ハラルマップとは観光施設なども掲載しているが主な内容はイスラム教の教えである礼拝の施設の掲載や、ハラルフードという決められた食材だけを扱っているお店を掲載しているものである。大阪府や兵庫県など比較的観光客の多い場所では作られているのに奈良県はまだ冊子としてなかったので制作することにした。冊子にすることで携帯電話が使えないことがあったとしても見ることができる。またネットでは不確かな情報があるため冊子にすることでより安全性が上がると思ったからである。ハラルフードとはイスラム教の聖典のコーランに基づいており、特に豚肉とアルコールは全面的に禁止で、また豚と接触した食べ物も禁忌となっている。牛や羊も教えに則った方法で屠畜・加工しなければいけない。さらにお店でハラルフードを扱った料理を提供する際ハラル認証という専門家からの認証が必要である。



(写真は奈良市にあるPY Halal Kitchen さんのハラル認証)

【本論】

まず始めの情報収集としてインターネットを使って近鉄奈良駅周辺でハラルフードを扱っている
と情報があったお店を探し、私たちが作成するハラルマップへの掲載の許可をいただいた。そし
て作ったマップを見ていただくために猿沢インとpy ハラルキッチンへ伺った。猿沢インとは猿沢池
のすぐ横にあるホテル兼文化交流センターである。そこは奈良県が運営し、異文化交流を含めた
奈良県の観光を促進する複合施設である。pyハラルキッチンは奈良市にあるハラルフードを扱っ
たお店である。

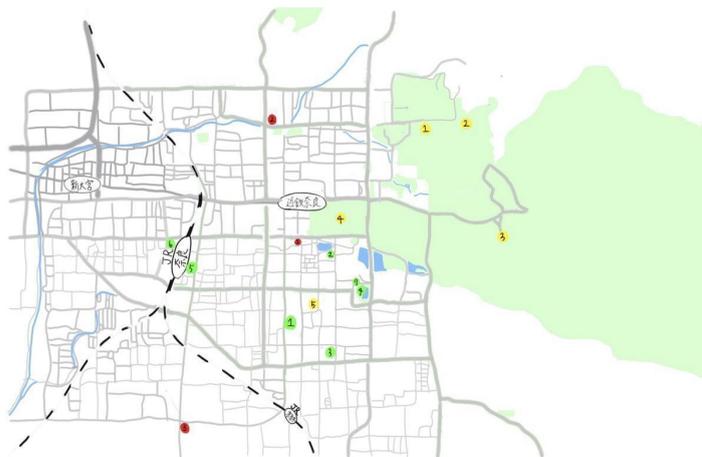
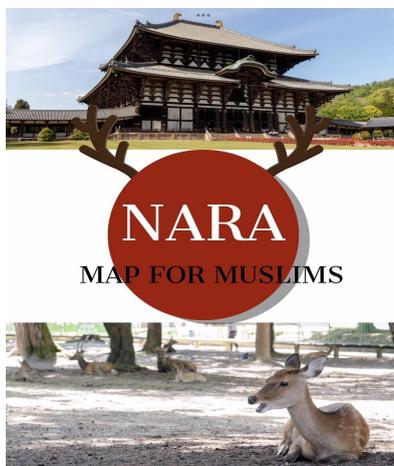
猿沢インではどのようにすればもっと多くの方に理解を深めてもらうことができるのかや、作っ
たマップをこれからどのように広めていくかなど、またマップの改善点などを頂いた。例えば

- マップに掲載しているお店の情報は常に最新である必要があるため更新日を付ける
- 文字の表記をヘボン式で統一すると見やすくなる
- 奈良県に来る前に情報を得てもらうために、空港に置いてもらう
- お店や観光スポットの情報をより詳しく見ていただくためにQRコードを加える

などで、どの意見も自分達では気づくことがなかった改善点であった。更新日を掲載することは
マップを手にする方が正確な情報を得るために重要であり、またヘボン式である理由はローマ字
では英語圏の方達は読みにくいためである。さらに先に述べたようにイスラム教の方は食べるも
のを決められている。そのため入国する前に現地の食べ物の情報を調べ、あまり情報がなかつ
た場合持参することもある。奈良県を訪れる前に少しでも早く情報を得てもらうために空港など
に置いてもらう必要がある。

次にpyハラルキッチンへ伺った。ここで私たちは大変な間違いをしていたことが分かった。当初
許可をいただいていたのは5店舗であったがその内2店舗が認証マークを得ていなかった。しっ
かりと情報を調べずに掲載しようとしていたことに気づき、その許可を頂いたが掲載出来なかつ
たお店にも迷惑をかけてしまう可能性があったため大変反省すべき点であった。

pyハラルキッチンの店主の方が一つ一つ丁寧に説明してくださりこのまま掲載していたら国際
問題になりかねないことを学んだ。それほど宗教のことを扱うことは難しく、とても理解が重要だと
学んだ。またネットの情報を鵜呑みにしてはいけないと改めて気づいた。



Restaurants Serving Halal or Muslim-Friendly Menu

- 1 PY Halal Kitchen
36-1 Hashimoto-cho Nara-shi / TEL : 050-1231-1442
- 2 Sakina Halal Food / さきなハラルフード
2-chome 1201-6 Minami kyobate-cho Nara-shi / TEL : 090-9897-2031
- 3 SAHHA
1071-2 Horen-cho Nara-shi / TEL : 070-8428-0552

Sightseeing

- 1 Todaji Temple / 東大寺
406-1 Zoshi-cho Narashi
- 2 Nigatsudo / 二月堂
406-1 Zoshi-cho Narashi
- 3 Kasuga Taisha Shrine / 春日大社
160 Kasugano-cho Narashi
- 4 Kofukujji Temple / 興福寺
48 Noboriori-cho Narashi
- 5 Gangoji Temple / 元興寺
11 Chuin-cho Narashi

Prayer space

- 1 Naramachi Jinniya / ならまちじんにいや
28-34 Minami jyodo-cho Narashi
- 2 Sarusawa In / 猿沢イン
3 Ikeno-cho Narashi
- 3 Naraigoto eenalHouse / 習い事エナ！ハウス
18 Kawanokami tsukinuke-cho Narashi
- 4 KAI
12-1 Wakido-cho Narashi
- 5 Nara City Tourist Information Center / 奈良市総合観光案内所
1-1082 Sanjyo Hommachi-cho Narashi
- 6 JR Nara Station / JR奈良駅
1 Sanjo hommachi Narashi
- 7 Nara Hotel / 奈良ホテル
1096 Takabatake-cho Narashi



以上の改善点から、必要な修正や追加を加えたのが上記のマップである。マップに書いてある番号と色が情報を載せているページの番号と色に対応しており、一目で分かるようにしている。更になぜ自分達がマップを作ろうと思ったのかを掲載してより手に取ってもらいやすいようにしている。また改善点として、マップの範囲が広すぎて伝えたい情報が伝わりにくいところや、手書きで書いているため見にくい部分がある。しかしまだ未完成の点もあるため、これから少しずつ改善を重ねて快適に使用してもらえようようにしたい。

マップが普及することの効果として、イスラム教の方が快適に観光出来るだけでなく、イスラム教を初めて知る方や、ハラルフードに興味がある方など多方面の方が世界と関わる架け橋になるだろう。またマップを置く場所を奈良県に来る前に入手出来るようにして、お店や観光地に迷わず直行出来るようになる。そうすることで快適に観光してもらうことが期待できる。そこから奈良県が異文化に配慮されたまちになり、より発展していくことを期待したい。しかしマップを普及させる上で二つ問題点がある。一つ目はこの活動が私たちのグループだけの活動になってしまい、効果が広がらないことである。そのため観光客が快適な旅行をすることができず、また自分とは違う文化や考え方を学ぶ機会を失ってしまう。次に私たち高校だけではマップを広く知ってもらうのに限界があることである。私たちは企業や県の助けが必要である。

【結論】

イスラム教徒の方達が生活しやすくなるために私たちはより理解を深めることが大切である。何か行動を起こそうにも知識がないことには何もできない。お互いに理解を深めるからこそ見えて来る新しい側面がある。また今回作ったマップもまだまだ認知されていないため、これからどのように広く認知してもらうのが課題になってくる。また今回だけの活動とせず、次の世代に受け継いでいく必要がある。

【おわりに】

探究を通して私が感じたことは多文化共生とは、調べて知識を身につけると同時に自分と「違うこと」を理解してその個性を「当たり前」だと認識することだと考える。身近な問題が、実は多文化共生の問題に関わっている。世界でグローバル化が進む今日では人との関わりがより発展をも

たらししてくれるのだと思った。ハラルやイスラム教の一面を知っただけでも、知る前より何倍も知識が身につく、新しい考え方、物の見方を得た。さらに、自分の意見と他のメンバーの意見を組み合わせながらマップを作成していく中で相手を理解することの大切さを学んだ。相手が何を求めているのか、またそれをどのようにすれば自分や他の人の意見と組み合わせることができるのかとても学ぶことがあった。

しかしどれだけ私たちが行動しても、周りの人たちに広めたり、周りの人たちが理解しないことにはいつまでも小規模のまま終わってしまう。受け身になるのではなく、一歩踏み出して自分から行動することが大切である。

参考文献

国土交通省『第一部 令和2年 観光の動向』

<https://www.mlit.go.jp/statistics/content/001408959.pdf> (参照2022-10-01)

一般社団法人 ハラル・ジャパン協会『イスラム教徒について 世界のイスラム教徒』

<https://jhba.jp/halal/islam/> (参照2022-09-30)